

校長 加島 政幸

1 学校関係者評価委員名

鬼塚清武（地区振興会会長） 高木政光（区長会会長） 濱 重成（ボランティア代表）  
大中文明（ボランティア代表） 原田和久（見守り隊代表） 森下千秋（民生委員代表）  
江藤 綾（就学前部会） 堤田由記美（楠浦児童館） 大中めぐみ（楠浦児童館）  
眞田洋子（社会体育指導者代表） 森下りえ（読み聞かせグループ代表）  
松本俊寛（PTA会長） 飽田義博（地域学校協働活動推進員）

2 学校関係者評価

主な課題	
① 【読書について】	
児童 Q：あなたは本をよく読んでいますか。 読んでいない+どちらかという読んでいない	28人/106人
保護者 Q：お子さんは本をよく読んでいますか。 そう思わない+どちらかというと思わない。	43人/80人
学校運営協議会 Q：子ども達、本をよく読んでいますか。 そう思わない+どちらかというと思わない。	3人/8人
② 【家庭学習について】	
児童 Q：あなたは家庭学習に取り組んでいますか。 取り組んでいない+どちらかという取り組んでいない。	5人/106人
保護者 Q：お子さんは進んで家庭学習に取り組んでいますか。 そう思わない+どちらかというと思わない。	23人/80人
学校運営協議会 Q：子ども達は進んで家庭学習に取り組んでいるか。 そう思わない+どちらかというと思わない。	2人/5人
③ 【健康】	
児童 Q：健康（早寝・早起き・朝ご飯）に注意して生活していますか。 している+どちらかというとしている。	79% 9人が×
保護者 Q：お子さんは、健康に注意して生活していますか。 そう思う+どちらかと言えばそう思う。	77% 16人が×
学校運営協議会 子ども達は、健康に注意して生活していると思うか。 そう思う+どちらかと言えばそう思う。	75% 4人中1人が×
④ 【あいさつ】	
児童 Q：あなたは、あいさつがきちんとできていますか。 できている+どちらかというできている。	92%
保護者 Q：お子さんは、あいさつがきちんとできていると思いますか。 そう思う+どちらかと言えばそう思う。	83%
教職員 Q：児童は、きちんとあいさつができていますか。 そう思う+どちらかと言えばそう思う。	83%
学校運営協議会 Q：子ども達は、きちんとあいさつができていますか。 そう思う+どちらかと言えばそう思う。	90%

主な課題は、上の4点である。読書については、PTAも呼びかけを行っているが、昨年度もこのような評価結果である。学校経営方針にも読書について職員へ呼びかけている。学校では読書の木などの学級や図書委員会の呼びかけで読書量は増えているもの、習慣化にいたっていない。ただよく読む児童は、年間200冊を超えるなど、成果も見られつつある。家庭学習については、家庭の協力を得ながら粘り強く取り組んでいる。外国語については、さらに力を付けていけるように、専科、ALTと連携し、授業改善に取り組んでいく。健康については、規則正しい運動と生活リズムがいかに重要か発信してきたが、まだまだ不十分である。朝の車での送り迎えも多く、課題である。あいさつについては、児童は高く評価する傾向にある。2学期末終業式で保護者や教職員評価を児童に示し、評価は比較しないと実態が見えてこないと話をした。3学期はあいさつをがんばり、学校運営協議会の方々の評価は高くなった。成果が見られる。

### 3 来年度の重点取組（学校評価を踏まえた今後の方向性）

- 1 項目によっては、運営協議会の方々が評価しにくい項目があった。課題である評価項目については、情報をHPや学校便りで、発信する。
- 2 読書については、校長が学校で育成すべき資質・能力として職員に数値目標として示す。一部の児童で多読者が増えていることから、多読者表彰等にも取り組んでいく。
- 3 健康については、養護教諭や稜南中校区で一体となって課題を明確にして、効果のある実践となるよう連携していく。また3校のPTAとも連携する。その際、評価結果を共有し、成果と課題の共有に努める。
- 4 あいさつについては、より高いレベルをめざして取り組む。児童会を活性化させ、更なる高みを目指す。